

大阪ガストランジションファイナンス レポート（2022年度実績）

○第1回ランジションボンド（第44回無担保社債）

1. 資金充当状況

2022年6月2日発行の「第1回ランジションボンド（第44回無担保社債）」にて調達した100億円は、2023年3月31日までに、各プロジェクトに計画通り全額充当完了しました。内訳は下表の通りです。

適格クライテリア	プロジェクト名称	金額	リファイナンス	新規充当	未充当額
再エネ電源	印南風力発電所	100億円	45億円	—	—
	野辺地陸奥湾風力発電所		15億円	—	—
	横浜町風力発電所		18億円	—	—
	Daigas 大分みらいソーラー		12億円	—	—
天然ガス・コージェネ高度利用	四国セントラルエナジー		8.2億円	1.8億円	—

2. インパクトレポート

(1) 再エネ電源

充当対象となった下表のプロジェクトは、2023年8月現在、順調に稼働しています。

プロジェクト名称	運開時期	設備容量	環境改善効果*1 (2022年度実績)
印南風力発電所	2018年6月	26.0MW	18,412 t-CO ₂ /年
野辺地陸奥湾風力発電所	2023年1月	39.6MW	6,859 t-CO ₂ /年*2
横浜町風力発電所	2023年4月	43.2MW	2022年度は建設中のため、実績なし
Daigas 大分みらいソーラー	2013年5月	26.5MW	19,318 t-CO ₂ /年

*1 環境改善効果：

年間発電量実績(kWh)×出資割合(%)×火力電源平均のCO₂排出係数(kg-CO₂/kWh)×1/1000

*2 2023年1月運開以降の実績

(2) 天然ガス・コージェネ高度利用

本プロジェクトは、産業用のお客さまへガス導管による天然ガスを供給するプロジェクトであり、燃料転換による地域社会の低炭素化に資するものです。

プロジェクト名称	供給開始時期	環境改善効果*3 (2022年度実績)
四国セントラルエナジー	2022年12月	5,174 t-CO ₂ /年*4

*3 環境改善効果：

(「燃料転換前の石炭・石油等のCO₂排出量」-「燃料転換後のLNGのCO₂排出量」)×出資割合(%)

*4 2022年12月供給開始以降の実績

○第2回トランジションボンド（第47回無担保社債）

1. 資金充当状況

2022年9月1日発行の「第2回トランジションボンド（第47回無担保社債）」にて調達した270億円は、2023年3月31日までに、各プロジェクトに計画通り全額充当完了しました。内訳は下表の通りです。

適格クライテリア	プロジェクト名称	金額	金額		
			リファイナンス	新規充当	未充当額
再エネ電源	桑原城メガソーラー (No.4)	270億円	15億円	—	—
	茨城県北茨城市磯原町 特高発電所		—	—	
火力電源/ 天然ガス・コージェネ高度利用	姫路天然ガス発電所		255億円	—	—

2. インパクトレポーティング

(1) 再エネ電源

充当対象となった下表のプロジェクトは、2023年8月現在、順調に稼働しています。

プロジェクト名称	運開時期	設備容量	環境改善効果*5 (2022年度実績)
桑原城メガソーラー (No.4)	2020年4月	約12.0MW	17,572 t-CO ₂ /年
茨城県北茨城市磯原町 特高発電所	2021年1月	約35.0MW	

*5 環境改善効果：

年間発電量実績(kWh)×出資割合(%)×火力電源平均のCO₂排出係数(kg-CO₂/kWh)×1/1000

(2) 天然ガス・コージェネ高度利用

姫路天然ガス発電所は、高効率ガスタービンと排熱回収ボイラを備えており、国内トップクラスの発電効率及び環境性能を有した発電所であり、間接的に非効率火力発電所や相対的に高いCO₂を排出する火力発電所の代替（燃料転換）に資する発電所です。

2023年8月現在、当初計画通り2026年の運転開始を目指し、建設工事を進めています。

プロジェクト名称	運開時期（予定）	設備容量	環境改善効果 (2022年度実績)
姫路天然ガス発電所	1号機：2026年1月 2号機：2026年5月	1245.2MW	2022年度は建設中のため、実績なし

○トランジション・ローン

1. 資金充当状況

2023年1月に実施したトランジション・ローンにて調達した資金につきまして、2023年3月31日現在における資金の充当状況は下表の通りです。

適格クライテリア	プロジェクト名称	金額	資金充当状況		
			リファイナンス	新規充当	未充当額
火力電源/ 天然ガス・コージェネ高度利用	姫路天然ガス発電所	350億円	310億円	36.9億円	3.1億円

2. インパクトレポーティング

(1) 天然ガス・コージェネ高度利用

姫路天然ガス発電所は、高効率ガスタービンと排熱回収ボイラを備えており、国内トップクラスの発電効率及び環境性能を有した発電所であり、間接的に非効率火力発電所や相対的に高いCO₂を排出する火力発電所の代替（燃料転換）に資する発電所です。

2023年8月現在、当初計画通り2026年の運転開始を目指し、建設工事を進めています。

プロジェクト名称	運開時期（予定）	設備容量	環境改善効果 （2022年度実績）
姫路天然ガス発電所	1号機：2026年1月 2号機：2026年5月	1245.2MW	2022年度は建設中のため、実績なし

以上